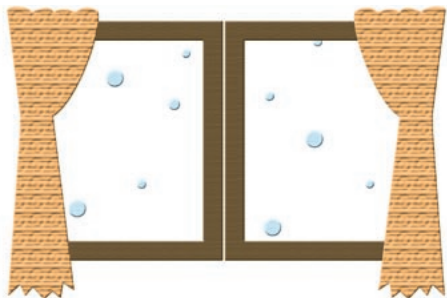


株主の皆様へ



第101期

# 中間報告書

2009年4月1日～2009年9月30日



大正製薬株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社第101期第2四半期連結累計期間（2009年4月1日から9月30日）の事業の概況などにつきまして、ここにご報告申し上げます。

第101期も折り返し地点を過ぎましたが、事業環境が変化する中で、全体としてはほぼ計画どおりに第2四半期を終えることができました。セルフメディケーション事業では、夏の天候不順の影響で「リポビタンシリーズ」が計画を下回ったものの、新型インフルエンザ流行による予防意識の高まり等により「パブロンシリーズ」が増収となり、また新製品を発売した「リアップシリーズ」も伸長しました。医薬事業では、昨年10月に発売した注射用抗菌薬「ゾシン」の寄与等により、計画を上回りました。その結果、売上高は1,298億円、前年同期比3%増となりました。また、営業利益は182億円（前年同期比7%減）、四半期純利益は104億円と計画を上回りました。中間配当につきましては、前期と同じく1株当たり12円とさせていただきます。

今年6月に実施されたOTC医薬品（一般用医薬品）の販売制度改正により、当社を取り巻く環境の変化が続いています。その中で私どもは、OTC医薬品のリーディングカンパニーとして、新しい市場を開拓すべく挑戦を続けてまいります。加えて、OTC医薬品の海外展開でも、米国BMS社のアジアにおけるOTC医薬品ブランドならびに子

会社買収により、新たな一步を踏み出しました。アジアでのOTC医薬品事業の本格展開に向けて、プラットフォームを早期に確立し、着実に推進する所存でございます。

医薬事業におきましては、抗菌薬市場でのシェア拡大を目指した取り組みが成果につながってきております。また今年10月には、中外製薬より導入し、骨粗鬆症を予定適応症として共同開発してまいりましたCT-081が申請されました。大正富山医薬品におけるもう一つの重点領域、炎症・免疫領域の強化に向けて、今後、積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様には私どもの経営戦略に一層のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長

上原 明

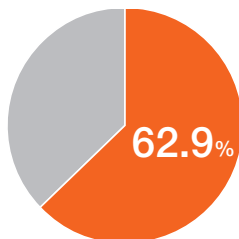


### → セルフメディケーション事業

第2四半期  
連結累計期間売上高

816億円

(前年同期比1%減)



ドリンク剤「リポビタンシリーズ」は「リポビタンファイン」などのシリーズ品が堅調に推移したものの、夏の天候不順で「リポビタンD」が伸び悩んだことから、売上高は399億円(前年同期比6%減)となりました。

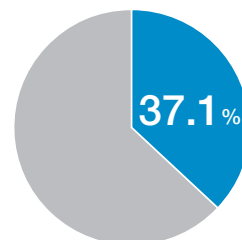
一方、かぜ薬・鼻炎治療薬「パブロンシリーズ」は花粉症の流行、新型インフルエンザ流行に伴う予防意識の高まり等から106億円(同13%増)と好調に推移しました。発毛剤「リアップシリーズ」は、2009年6月に発売した新製品「リアップX5」が寄与し、64億円(同10%増)と伸長しました。機能的食品等の「リビタシリーズ」は粉末タイプの各種製品が好調で、14億円(同12%増)となりました。海外におけるドリンク剤の売上高は28億円(同10%減)となりました。なお、当事業におけるバイオフェルミン製薬の売上高寄与額は28億円でした。

### → 医薬事業

第2四半期  
連結累計期間売上高

481億円

(前年同期比10%増)



医療用医薬品につきましては、厳しい事業環境下、情報提供活動を中心とした営業力強化に努めました。その結果、マクロライド系抗菌薬「クラリス」、末梢循環改善薬「パルクス」はそれぞれ、101億円(前年同期比2%増)、55億円(同1%減)となりました。

一方、新製品につきましては、2008年10月に発売したβ-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」が51億円と計画を上回り大きく伸長しました。キノロン系抗菌薬「ジェニナック」(2007年10月発売)も好調で27億円となりました。

医療用中間製品等の売上高は前年同期比ほぼ横ばいとなりました。また工業所有権等使用料収益は2億円(同86%減)にとどまりました。なお、当事業におけるバイオフェルミン製薬の売上高寄与額は16億円でした。

# 中間連結財務諸表

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

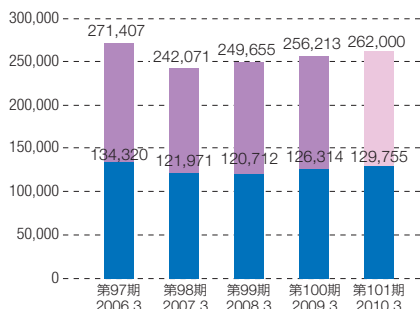
科目	当第2四半期 連結会計期間末 (2009年9月30日現在)	前第2四半期 連結会計期間末 (2008年9月30日現在)	前連結 会計年度末 (2009年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	<b>217,355</b>	<b>246,674</b>	<b>215,872</b>
現金・預金	116,142	131,549	112,989
受取手形・売掛金	64,392	61,360	61,968
有価証券	3,092	18,311	2,918
たな卸資産	23,249	24,909	22,146
繰延税金資産	7,103	7,031	7,450
その他	3,375	3,511	8,398
<b>固定資産</b>	<b>383,209</b>	<b>354,004</b>	<b>375,696</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>92,715</b>	<b>94,554</b>	<b>92,961</b>
建物・構築物	47,684	50,366	48,681
機械装置・運搬具	9,342	10,164	9,211
土地	30,820	29,659	29,652
建設仮勘定	876	368	1,218
その他	3,990	3,995	4,196
<b>無形固定資産</b>	<b>9,207</b>	<b>10,285</b>	<b>10,108</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>281,286</b>	<b>249,164</b>	<b>272,626</b>
投資有価証券	218,629	207,988	205,410
その他	62,656	41,176	67,215
<b>資産合計</b>	<b>600,565</b>	<b>600,679</b>	<b>591,568</b>

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (2009年9月30日現在)	前第2四半期 連結会計期間末 (2008年9月30日現在)	前連結 会計年度末 (2009年3月31日現在)
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	<b>54,807</b>	<b>49,530</b>	<b>54,130</b>
支払手形・買掛金	22,459	19,681	20,149
短期借入金	1,620	340	605
未払金	9,846	9,661	11,265
未払法人税等	8,172	8,219	9,193
その他	12,708	11,627	12,915
<b>固定負債</b>	<b>22,416</b>	<b>22,543</b>	<b>22,927</b>
退職給付引当金	16,400	15,545	15,937
その他	6,016	6,997	6,990
<b>負債合計</b>	<b>77,224</b>	<b>72,074</b>	<b>77,057</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	<b>518,197</b>	<b>515,999</b>	<b>516,948</b>
資本金	29,804	29,804	29,804
資本剰余金	14,935	14,935	14,935
利益剰余金	501,049	529,033	535,393
自己株式	△ 27,591	△ 57,773	△ 63,183
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△ 4,776</b>	<b>3,866</b>	<b>△ 11,782</b>
その他有価証券評価差額金	1,931	7,412	△ 3,752
為替換算調整勘定	△ 6,707	△ 3,545	△ 8,030
<b>少数株主持分</b>	<b>9,919</b>	<b>8,738</b>	<b>9,344</b>
<b>純資産合計</b>	<b>523,341</b>	<b>528,605</b>	<b>514,511</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>600,565</b>	<b>600,679</b>	<b>591,568</b>

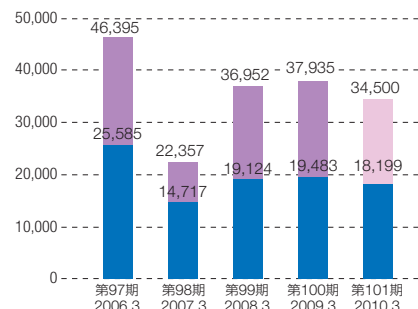
## 売上高

(百万円) ■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 ■ 通期予想



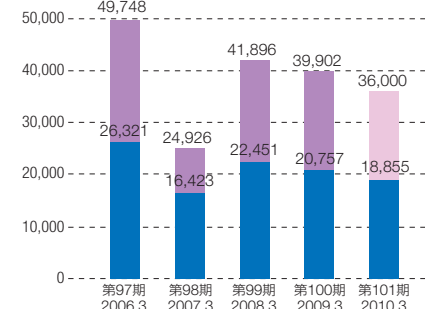
## 営業利益

(百万円) ■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 ■ 通期予想



## 経常利益

(百万円) ■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 ■ 通期予想



## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	前連結 会計年度 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)
売上高	129,755	126,314	256,213
売上原価	45,228	41,437	86,889
売上総利益	84,527	84,876	169,324
返品調整引当金 繰入額(△は戻入額)	29	△115	△138
販売費及び 一般管理費	66,298	65,509	131,526
営業利益	18,199	19,483	37,935
営業外収益	3,180	3,352	6,968
営業外費用	2,523	2,079	5,001
経常利益	18,855	20,757	39,902
特別利益	4	975	5,417
特別損失	48	13,394	18,560
税金等調整前 四半期(当期)純利益	18,811	8,338	26,759
法人税、住民税 及び事業税	8,312	8,788	17,078
法人税等調整額	△604	241	△259
少数株主利益	739	361	1,126
四半期(当期) 純利益(△は純損失)	10,364	△1,053	8,815

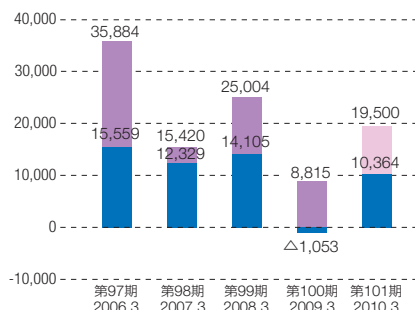
## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	前連結 会計年度 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	15,829	10,965	35,782
投資活動による キャッシュ・フロー	19,373	13,743	△12,530
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,741	△15,916	△29,429
現金及び現金同等物に 係る換算差額	323	△281	△1,581
現金及び現金同等物の 増加(△は減少)額	30,784	8,511	△7,759
現金及び現金同等物の 期首残高	64,862	72,621	72,621
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	95,646	81,133	64,862

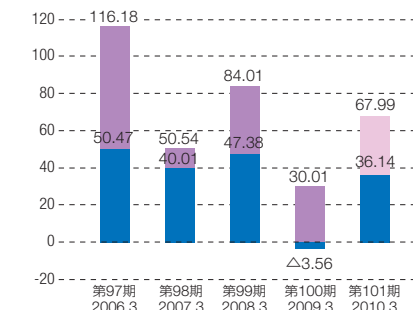
### 当期純利益

(百万円) ■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 ■ 通期予想



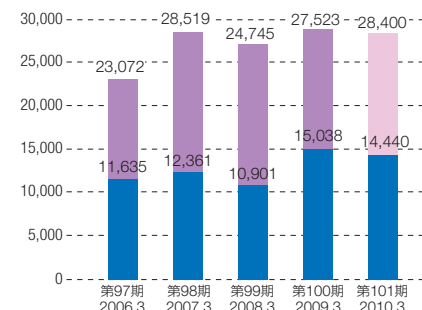
### 1株当たり当期純利益

(円) ■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 ■ 通期予想



### 研究開発費

(百万円) ■ 第2四半期累計期間 ■ 通期 ■ 通期予想



## 新製品・開発品の状況

生活者の健康に関する多様なニーズにお応えするため、両事業での新製品開発に一層注力しています。当期、セルフメディケーション事業では、男性用発毛剤「リアップX5」（発毛成分ミノキシジルを従来品の5倍量配合）をはじめとした新製品の発売により「第1類医薬品」の

品揃えを拡充いたしました。一方、医薬事業では、骨粗鬆症を予定適応症として中外製薬と共同開発を行ってきた「CT-081（中外製薬での開発コード：ED-71）」について、中外製薬が製造販売承認申請を行ったことを発表いたしました。

製品名・ 開発コード	剤形	予定適応症	開発段階					開発形態	オリジン
			フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認		
国内									
クラリス錠 200	経口	3剤併用*1による胃 MALT リンパ腫、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、及び特発性血小板減少性紫斑病におけるヘリコバクター・ピロリの除菌(適応追加)	[進捗状況]					3剤併用療法に係る9社*2 共同で申請	大正製薬
CT-081	経口	骨粗鬆症	[進捗状況]					共同：中外製薬	中外製薬
CT-064	注射	骨粗鬆症	[進捗状況] (フェーズ2/3)					共同：中外製薬	ロシュ
TT-063	外用	変形性関節症、肩関節周囲炎、筋肉痛等	[進捗状況]					共同：トクホン	トクホン
NT-702	経口	気管支喘息	[進捗状況]					共同：日産化学工業	日産化学工業
		閉塞性動脈硬化症に伴う間歇性跛行	[進捗状況]						
CT-064	経口	骨粗鬆症	[進捗状況]					共同：中外製薬	ロシュ
TS-071	経口	1型糖尿病、2型糖尿病	[進捗状況]					自社	大正製薬
TS-022	外用	アトピー性皮膚炎に伴う掻痒症	[進捗状況]					自社	大正製薬
バルクス	注射	腰部脊柱管狭窄症に伴う間歇性跛行(適応追加)	[進捗状況]					自社	大正製薬/ 田辺三菱製薬
海外									
TS-022	外用	アトピー性皮膚炎に伴う掻痒症	[進捗状況]					自社	大正製薬

\*1 プロトンポンプ阻害薬(ランソプラゾール、オメプラゾール、ラベプラゾールナトリウム)及びアモキシシリン水和物を用いた3剤併用

(2009年10月30日現在)

\*2 大正製薬、アボット ジャパン、アステラス製薬、アストラゼネカ、エーザイ、協和発酵キリン、塩野義製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬

# 株式の状況・会社概要

## 株式の状況(2009年9月30日現在)

発行可能株式総数.....	普通株式	1,174,959,000株
発行済株式総数.....	普通株式	300,465,510株
単元株式数.....		1,000株
株主数.....		37,176名

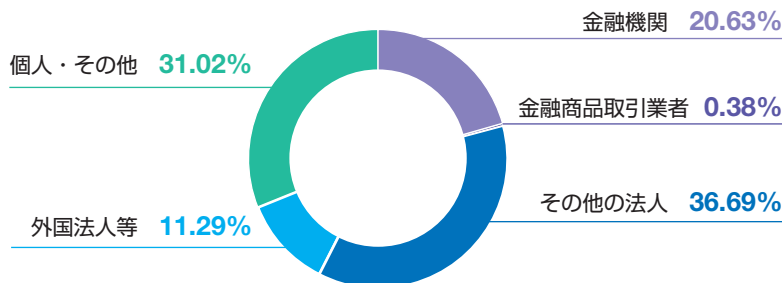
## 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
(財)上原記念生命科学財団	43,000	14.98
上原 昭二	36,614	12.76
大正製薬(株)	13,461	—
(株)三井住友銀行	10,000	3.48
(株)三菱東京UFJ銀行	10,000	3.48
(財)上原近代美術館	10,000	3.48
上原 明	7,145	2.49
住友化学(株)	7,033	2.45
日本トランス・サービス信託銀行(株)(信託口)	6,797	2.37
鹿島建設(株)	5,500	1.92

※株数は千株未満切り捨て。

※出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



※自己株式は控除して計算しております。

## 会社概要(2009年9月30日現在)

商号	大正製薬株式会社
主な事業内容	医薬品、医薬部外品、化粧品、食品、雑貨などの製造ならびに販売
創業	大正元年(1912年)
会社設立	昭和3年(1928年)
資本金	298億円
従業員数	5,529名(連結)、3,581人(単体)
本店所在地	〒170-8633 東京都豊島区高田三丁目24番1号

## 役員一覧(2009年9月30日現在)

### 取締役

代表取締役会長兼社長	上原 明
取締役副会長	大平 明
代表取締役副社長	堀田 尚孝
取締役副社長	上原 茂
常務取締役	酒井 明人
常務取締役	上原 健
取締役	佐々木 賢明
取締役	北村 一泰
取締役	滑川 良博
取締役	中禮 清実
取締役	福留 潤一
社外取締役	森川 敏雄

### 監査役

常勤監査役	戸山 敏
常勤監査役	森本 繁夫
社外監査役	吉川 勲
社外監査役	楠本 節子

# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
期末配当の基準日	毎年3月31日
中間配当の基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
公告掲載URL	<a href="http://www.taisho.co.jp/">http://www.taisho.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。

## ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒170-8633 東京都豊島区高田三丁目24番1号  
TEL:03-3985-1111  
<http://www.taisho.co.jp/>

